

取付説明書



STE-G100C

コアキシャル・2ウェイ・カスタムスピーカー

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

アルパイン「お客様登録」のご案内

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！
https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

<電話でのお問い合わせ>
TEL: 0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

(携帯電話・PHS:20分10円)
<メールでのお問い合わせ>
ホームページのお問い合わせ
フォームより受け付けています。



<FAXでのお問い合わせ>
FAX: 048-662-6676

●電話受付時間（日、祝日、弊社休業日を除く）
月～金：9:30～17:30
土曜日：9:30～12:00 13:00～17:00

●アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-736_A2)
68-29530Z08-A

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の説明

	強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
	禁止	禁止（やってはいけないこと）の内容を示しています。
	注意	注意（警告を含む）しなければならない内容を示しています。

警告

DC12V マイナスアース車専用です
24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。

説明書に従って、取り付け・配線をする

作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする

感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる

ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

強制



分解・改造をしない

特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。

禁止



視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない

事故・ケガの原因になります。

禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない

事故・火災の原因になります。

注意



コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する

断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する

付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。



コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因になります。

禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない

火災・故障の原因になります。

使用上のご注意



大音量で鳴らすとスピーカーが破損する場合があります。

車外の音が聞こえる音量でご使用ください。事故・故障または、聴力障害の原因になります。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき……ます、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき…お買い上げ店、またはインフォメーションセンターにご相談ください。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

はじめに

ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本説明書の取り付け情報は、平成26年4月現在の調査に基づく内容です。
- 取り付け作業を行う時は、取り付けるスピーカーのフレーム内部に、作業時に発生するクズやゴミが入らないようにご注意ください。故障や異常などの原因になる場合があります。
- ドアや後席側面は雨水が回りこむ場合がありますので、必ず付属のクッションを本説明書にしたがって取り付けてください。また、車種により防水対策が必要な場合があります。お車に合わせ万全な防水対策を行ってください。

規格

瞬間最大入力	100W
定格入力	20W
再生周波数帯域	50Hz～48kHz
出力音圧レベル	91dB/W・m
インピーダンス	4Ω
重量(スピーカー単体)	0.55kg

1. 準備する

1 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー(エンジンキー)を抜く。

2 構成部品を確認する。

構成部品一覧を確認してください。

構成部品一覧

① スピーカー本体	×2	② φ4×16mm	×4
③ φ5×16mm	×4	④ ワッシャー	×4
⑤ エレクトロタップ	×4	⑥ 変換コード	×2
⑦ ユクリップ	×4	⑧ 防振クッション	×2

2. 取り付ける

1 ドアパネルまたはスピーカーグリルを外す。

代表車種の取り外し例が記載してありますので、裏面をご覧ください。

裏面に掲載されていないクルマの取付け情報に関しましてはアルパインホームページ「車種別取付け情報」をご覧ください。

<http://www.alpine.co.jp/support/fitting/>

2 純正スピーカーを外す。

代表車種の取り外し例が記載してありますので、裏面をご覧ください。

■純正スピーカーのネジ止めにグロメットを使用している場合

アルパイン製スピーカーの取り付けに純正グロメットが不要な車種の場合は、純正グロメットを取り外す必要があります。

3 スピーカー線を接続する。

付属の変換コードを使用し接続します。

事前に車両側コネクターの極性を<車両側コネクターの形状と極性について>を参照し確認してください。

●変換コード⑥を使用する場合 ※車両コネクターが「T型タイプ」の場合

スピーカー

車両側コード

ライン入りコード

スピーカー

車両側コネクター

a: ニッサン/マツダ/イス/スズキ/ダイハツ/スバル

b: ミツビシ

車両側配線

●変換コード⑥とエレクトロタップ⑤を使用する場合

スピーカー

車両側コード

エレクトロタップ⑤

平端子（オス）側をカットします。

※エレクトロタップの使用方法

車両側コード

ストッパー

コードが突き当たるように

ペンチ

<車両側コネクターの形状と極性について>

車両側コネクターを配線側から見た図です。

⊕⊖の極性を間違えないよう注意してください。

トヨタ車

ニッサン車

ホンダ車

マツダ車

マツダ車

※変換コード接続時の注意

ファストン端子

スピーカー接続端子

先の細い工具など

ファストン端子は開いた側をスピーカー本体の外側になるよう取り付けてください。

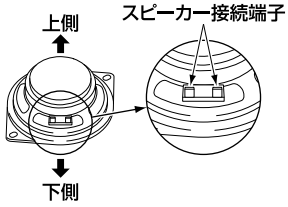
ファストン端子を取り外す際は、先端の細い工具（目打ちなど）でロックを押しながら真っ直ぐ引き抜いてください。無理な力を加えて曲げたりするとスピーカー接続端子が破損する場合がありますので注意してください。

4 スピーカーを取り付ける。

代表車種への取り付け例が記載してありますので、裏面をご覧ください。

●スピーカー取り付けの注意

スピーカーをドアに取り付ける場合は、スピーカー端子が下側になるように取り付けてください。また、車両側鉄板部に干渉しないように取り付けてください。



3. 確認する

1 不自然な当たりがないことを確認する。

特にスピーカーの端子が車体などに当たっていないかを確認してください。

2 コード類を固定する。

突起部に当てたり、窓ガラスやドアの開閉時に、コードを傷めないように注意してください。

3 イグニッションキー/カーオーディオ電源をONにして、本機から音が出ることを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

